# 体験しながら学ぶ はじめてのアフリカ

第1回:アフリカの国はいくつ?

アフリカ理解プロジェクト・ガールスカウト東京都第36団

















#### ガールスカウト対象オンライン講座 2021

#### はじめての体験しながら学ぶはじめてのアフリカ 第1回 アフリカの国はいくつ?

アフリカ大陸の国々を知る(アフリカの基礎知識を学ぶ) ビーズ・クラフトでアフリカの国旗を覚えよう! (体験しながら楽しく学ぶ)

------

**日時**: 2021年6月20日(日)14:00-16:00(2時間)zoomにて開催

**参加者**: ガールスカウト(シニア・成人) 14名

**講師・スタッフ**: 講師 2 名、ARP スタッフ 2 名、GS36 団アフリカチーム 5 名

共催: アフリカ理解プロジェクト/ガールスカウト東京都第36団

\_\_\_\_\_\_

ガールスカウト東京都第 36 団(以下 GS36 団)は、NGO アフリカ理解プロジェクトと共に、アフリカの多面的な情報を伝えることで異文化理解を促進し、世界に関心を広げる力を育てるプロジェクトを行っている。

当日は、アフリカ理解プロジェクトと GS36 のアフリカチームが進行を務めた。

#### 開会のあいさつ (GS36 団: 高野まゆリーダー)

アフリカ理解プロジェクト(以下 ARP)と GS36 団の共催。 GS36 団は、20 年以上前からアフリカ(タンザニアやエチオピア)の教育支援活動を行っている。 2016 年に団でエチオピアスタディツアーを実施し、本当のアフリカの体験をすることができた。 しかしアフリカは誰でも簡単に行けるところではなく、 GS36 団がエチオピア派遣や事前研修として学んだ ARP の講座で学んだことを活かしながら、全国の GS の皆さんにもアフリカについていろいろな角度から知ってもらいたいと思い、この企画を計画した。 このプログラムをきっかけにアフリカを少しでも身近に感じてもらえると嬉しい。

#### アイスブレーキング (GS36: 柴崎ゆうみリーダー)

自分、自分の家族や友達、GS の仲間など知り合いなどでアフリカに行ったことがあるか、画面上で見えるよう手で合図をしてもらう: ARP、GS36 団のリーダー以外はアフリカの経験者の知り合いはいないようだ。

Zoom の使用経験を初めて、3 回以上、Zoom はよく使いプロ級か確認する:3 回以上、もしくは Zoom に関してはプロの方も何人かいた。慣れている方が多いようだ。





#### お話 1) アフリカの国はいくつ?

講師:白鳥清志 ARP 事務局長/JICA 専門家/京都大学アジア・アフリカ地域研究客員教授

協力隊でケニアに赴任、その後アフリカ開発協力に従事。専門は農業、農村開発。今日はアフリカ入門編として、私の知るアフリカを紹介する。アフリカに関心を持つきっかけを見つけてもらえれば嬉しい。

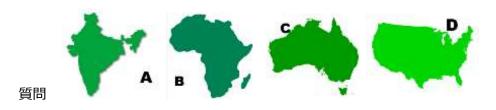
#### **<アフリカのイメージ>**

最初に、「アフリカのイメージ」を話し合ってもらいたい。ブレークアウトグループに分かれアフリカのイメージを 出し合い(2 分間)、全体で共有した。

出されたアフリカのイメージは、「自然に恵まれている」「動物が多い」「木や砂が多い」「サバンナと砂漠で 気候が分かれている」「赤道が近く砂漠が多い」「とても暑い」「動物が多い」「貧困が多い」「貧富の差が 大きい」「病気が多い」「治安が悪い」「民族同士の争いが昔あった」「国が多い」「衣服がかわいい」など 様々な意見がでたが、どちらかというとネガティブなイメージの方が多かった。(記録者注:全国のGS は、ユニセフなど援助団体への支援を長年行っている。アフリカが抱える課題への関心がネガティブなイメージ につながっているのかもしれない)

#### <アフリカの基本知識>

#### 1大陸の大きさと気候、世界一のものは?



正解は B。ほぼ全員正解。

アフリカ大陸はインドと少し形が似ている。

アフリカ大陸は約 3000 万平方キロメートルある。日本の約 80 倍、北米大陸や中国、インドなどがすっぽりと入るほど大きい。アフリカは南の大陸のイメージがあるが、北緯 37 度がアフリカの最北(チュニジアベンサッカ岬)で富山市と同じ緯度になる。アフリカ大陸はおそらく皆さんのイメージよりも北まで広がっていることがわかる。南の端は南極に近く、ペンギンが住む。大きな大陸には、地中海性気候、砂漠気候、ステップ気候、サバンナ気候、熱帯雨林気候、温暖湿潤気候、西海岸性気候、と様々な気候がある。

大きな大陸には世界一のものがたくさんある。世界一広いサハラ砂漠(1,000 万平方 km)、世界一長いナイル川(6,650km)、世界一広い内陸にある湿原オカバンゴ(2 万 5,000 平方キロメートル)、赤道に近いけれど山頂に氷河を持つキリマンジャロ山(5,895m)、コンゴの熱帯雨林は南米のアマゾンに次ぎ世界で 2 番目の広さである。

#### 2アフリカ大陸の人口は?

質問: A 3 億人、B 7 億人、C 13 億人、D 21 億人

答えは 13 億人。

人口密度は平方キロメートル当たり 43 人で日本の 334 人よりも少なく、まばらだ。若い大陸で 14 歳以下の人口が約 40%(日本は約 12%)。選択肢の一つ 21 億人は、アフリカの人口が 2050 年人口予測。世界の 4 人に一人がアフリカ大陸の人になる。

#### 3アフリカ大陸に国はいくつ?

質問: A 53 カ国、B 54 カ国、C 55 カ国、D 56 カ国

正解はひとつではない。

アフリカ連合の加盟国は 55 か国 (2021/6/30 現在)。54 か国は日本が承認している数(外務省)。モロッコが国の一部と主張している西サハラ(サハラ・アラブ民主共和国)を日本は承認していない。独立を宣言しているが国際的には承認されていないソマリランドなどもある。ソマリランドはソマリアの北部地域で、総選挙も行い平和的に統治されている。アフリカ大陸は、サハラ以南アフリカをさす場合と北アフリカを含める場合があるので注意が必要。

余談だが、エジプトとスーダンの国境付近に、どこの国も領有権を主張していない、ビル・タウィールという地域がある。衛星写真を見ると、道路や住居があり、人が住んでいる様子。どんな人たちが住んでいるのだろうか?

#### 4 民族と言葉、暮らし方、食べ物、文化

アフリカの大陸には、様々な民族、言葉、暮らし、食べ物、文化がある。

言語の母語は 2,100 以上。民族の数もほぼ同数で暮らし方も様々。牧畜民、農耕民、数は少ないが 狩猟民もいる。アフリカの市場はにぎやかで生活に必要なものが手に入る。都市は近代的、高架鉄道が 走っていたり、高層ビルがあったりするスーパーには商品が多くならび、ショッピングセンターもある。田舎に行 くと木の下で授業をやっているような学校もあるが、コンピュータを一人一台使って勉強している学校もある。

#### 5 アフリカの歴史

簡単にアフリカの歴史をおさらいする。今のアフリカに関係していることもある。

エジプト文明で紀元前 5000 年ごろに起きた文明。いま私たちが使っているカレンダーや時間が 60 分の起源はここ。16 世紀ごろから奴隷貿易が始まり 19 世紀後半まで続いた。1,500 万から 2,000 万人もの人が大陸から連れ去られたといわれている。アフリカ大陸からカリブ海や北米に奴隷を運んで綿花、砂糖などを栽培する作業に従事した。そこでできた綿、砂糖はヨーロッパに運ばれ、加工された商品はアフリカに運ばれて奴隷と交換された。この三角貿易でヨーロッパ諸国が富を蓄積した。19 世紀ごろからヨーロッパのアフリカの植民地化が始まり、19 世紀の終わりごろにはほとんどのアフリカの地域がヨーロッパのどこかの国の植民地になり、コーヒー、紅茶、綿花、砂糖などがアフリカに持ち込まれた。20 世紀に入って独立運動が始まり、1957 年にガーナが最初に独立し、60 年代には多くのアフリカの国が独立した。独立する際に植民地での国境線がそのまま引き継がれた。

#### 6アフリカの産業

アフリカの産業の特徴は、農業と鉱業の割合が高いこと。人口の半分以上の人が、農村に住んだり農業に従事したりしている。また、地下資源の輸出に占める割合も高い。

ケニアの例を見てみよう。ケニアは農業以外の産業が比較的進んでいる国だが、国民総生産の三割以上を農業が占めている。日本は 1.2%(jp.gdfreak.com)。コーヒーはケニアやタンザニア、カカオはガーナやコートジボワールが有名だが、これらの農産物は植民地時代に輸出用に持ち込まれたもので、今でも主要な輸出産品になっている。

ナイジェリア、アルジェリアの石油、南アフリカの金、ガンビアの銅、コンゴのコバルトなどが地下資源では有名。コバルトはこれから増える電気自動車などのバッテリーに欠かせない。日本にとっても重要な資源だ。

#### アフリカンミュージックで一息

ウガンダの Masaka Kids というグループが(Masaka Kids Africana)素敵なダンスと歌を披露している動画を紹介。未来のチャンピオンになるために勉強して知識を蓄えようという歌。

#### 7変わるアフリカ (MDGsとSDGs)

変わるアフリカについて見てみよう。ミレニアム開発目標(MDGs,2000-2015)を国連が掲げて世界の国々が取り組んだ。十分ではないがアフリカの国々もそれなりの成果を出した。

例えば、サブサハラ地域で貧困に苦しむ人の割合や乳幼児死亡率、妊婦の出産時に死亡する人数は半分になった。世界経済フォーラムによると「ジェンダー平等ランキング」では、日本よりもナミビア、ルワンダなどがはるかに上位だ。経済成長率も高く、2000年以降大陸全体で平均5%成長し、エチオピアは15%に達した年もあった。

2015 年からは持続可能な開発目標(SDGs)をかかげて 2030 年のゴールにむけて世界の企業、政府、個人が取り組んでいる。

#### 8 アフリカと日本

日本とアフリカは、毎年約 1 兆円の輸出入を行っている。日本は自動車や家電、食料品をアフリカに輸出、アフリカからは海産物、農産物、レアメタルなどを輸入している。タコもアフリカから来ている。

日本とアフリカの関係で忘れてはならないのが 1993 年に日本がリーダーシップをとって始めたアフリカ開発 会議(TICAD)がある。第8回会議が来年(2022年)にチュニジアで開催される。

#### 9 日本とつながるアフリカ原産の食べ物

質問: A オクラ、B スイカ、C ゴマ、D ササゲ

日本でも栽培され、食卓に良く登場するアフリカ原産の食べ物。実は、オクラ、スイカ、ゴマ、ササゲのいずれもアフリカ原産。コーヒー、ヒョウタン、マクワウリなどもアフリカ原産。日本とアフリカとの関係は、実は昔からあった。

#### 10 わたしの見たアフリカ

わたしの見たアフリカとして実際に体験した話を紹介。

はじめてのアフリカはケニアで、雨季には一面洪水になる地方に住み、ワニのいる川を丸太を彫ったボートで渡ったりしていた。タンザニアでは日本の協力で作られた水田が広がるキリマンジャロ山のふもとで暮らし、この水田農業を支援するプロジェクトに従事した。タンザニアの農家の人たちの努力により、今ではタンザニアの各地でコメが栽培されるようになり、年によっては、コメを隣国に輸出するまでになっている。ガーナでは市場で売られる農産物は女性商人(マーケットクイーン)がネットワークを作って流通を仕切っている。ガー

ナで作られるトウモロコシの 95%はマーケットクイーンのネットワークを通じて販売されている。政府系の流通会社はトウモロコシの 5%のシェアしか持たない。現在はエチオピアの農業プロジェクトに携わっている。 エチオピアは伝説ではシバの女王とイスラエルのソロモン王の間に生まれたメネリク一世が始まりといわれている。 実際には西暦 100 年頃はじまり、王様や皇帝が 1974 年に社会主義革命で倒れるまで 2000 年もの間支配した歴史のある国。 ゴンダール王朝のお城の写真を紹介(3ページ)。

#### 11 アフリカで起業する日本人

日本から約600社がアフリカに進出している。アフリカの現地で起業した若者も多い。

鮮やかなアフリカンプリントの素敵な布を使ったファッション関係の企業が目立つが、いろいろな会社があるのでいくつか紹介する。アルファジリ社は、ケニアの農産物流通会社。農家組合を支援し、農産物を買い取り、都市部での市場開拓、野菜小売店を経営している。アカツキ社は日本の投資会社で、最近南アフリカのゲーム会社に投資を決めた。若者の人口が多いアフリカで、スマホを使ったゲーム市場が有望だと判断した。アンド・アメット社は、エチオピアの羊の皮が柔らかく強い点に着目し、高級な羊の皮革を使ったバッグを生産。表参道に店舗を構える。ワッシャ社はタンザニアで電気の量り売りをしている。太陽光で充電したソーラーランタンのレンタル事業も行っている。夜でも子どもたちが勉強でき、露天はランタンをぶら下げて夜でも商売ができる。

Mobile money の広がりをポイントにブロックチェーン技術で課金システムを取り入れた。その他もたくさん面白い会社がある。スポーツ業界などへ進出している企業もある。

#### お話の終わりに

駆け足でアフリカを紹介したが、アフリカのイメージは変っただろうか。皆さんが今まで持っていたアフリカのイメージに、何かが加わっていればうれしい。アフリカに限らず世界中どこでも課題と可能性が同居する。アフリカ大陸にはたくさんの国があり、いろいろな人たちがいろいろな文化を持って暮らしている。アフリカの魅力はたくさんあるので、ぜひ探してほしい、アフリカの国々やアフリカに住んでいる人たちを知ると、自分自身や日本の見方も変わってくる。いろいろな人々のいろいろな生き方を知るとことは、あなたの人生を豊かにすることにつながるだろう。



お話 2) エチオピアスタディツアー

講師: GS36 団 (志村恵実リーダー)

2016 年に実施したエチオピアスタディツアーに参加した(当時中学 3 年生)シニアレンジャーによる体験談。2016 年 3 月に 1 週間、エチオピアに訪問。エチオピアへは日本から 17 時間、日本から飛行機で向かった。エチオピアはアフリカ大陸の東側にある国で、大陸の中で実は 2 番目に人口が多い国、約 1 億人の人口だといわれている。初めに首都のアディスアベバに行った。エチオピアの中心地は、想像していたよりも発展していて高層ビルやモノレールなどあり驚いた。現地の学校にも訪問した。地理の時間は、地球温暖化の授業が行われていて、日本でもエチオピアでも地球環境という同じトピックを扱っていて親近感がわいた。今回は手づくり体験がこの後にあるので、エチオピアのモノづくりについて詳しくみていく。

村の女性職人の焼き物(土器)工房に行った様子を紹介。お皿や置物の絵は一つずつ丁寧に手描き。

カナダ人女性起業家が貧困解消のために始めた織物工房のシルク製品のサバハール、JICA の協力隊 員が講師として働いている政府の服飾訓練校も訪問した。女性たちがみな、一生懸命仕事に取り組ん でいた姿が印象的だった。ARP が支援する女性グループのお宅も訪問した。みなさんは、エチオピアはコー ヒーの発祥地ということを知っていますか?コーヒー豆を使った商品を製作し、観光客に向け販売している。 本物のコーヒー豆や貝をつかったとてもきれいなアクセサリーだが、繊細で根気のいる作業が必要。不器用 なわたしには、丁寧な作業はとても難しく見えた。訪問した工房や作業所は、NGO や起業家が支援し、 貧しい女性たちに働く場所や訓練を提供することで、自立支援を進めている。SDGs の貧困解消、ジェン ダー平等、消費者の責任(フェアトレード)に深くかかわっている。

エチオピアでは約7割以上の人が農業や農業に関わる仕事に従事している。都市だけでなく農村の人た

ちの暮らしも知ろうと首都から 150 km離れたアダマと周辺に広がる農村を訪問した。アディスアベバと違い(当時のアダマ中心部は)大きな建物もなく、電車もなく、ロバや馬などが荷物を運んでいて都心とは違った雰囲気だった。アダマでは、フルーツや野菜を育てている大きな農園やメルカサ国立農業試験場を訪問した。農園は暑くて強い日差しだった。日本は湿気がありクーラーなしでは過ごせないが、エチオピアでは木陰に入ると涼しかった。農園は木陰があまりなかったので暑かった。日本に入ってくるコーヒーのすべてを検査する検査場(JICA プロジェクトが支援していた)を訪問し、専門的な説明をしていただいた。当時中学生の私たちは少し難しい話だったが、今なら理解できるだろう。最後に日本でも飲んだことないような、とてもおいしいコーヒーを飲ませていただいた。コーヒーが苦手な中学生のわたし(当時)でも飲める、美味しいコーヒーだった。

マーケットも訪問した。現地の人が買い物する市場で、スパイスなど食料品からサンダルなどの日用品までいろいろなもの売っていた。サンダルがマーケットで片方ずつ売っていたのが印象的だった。

食事のお話。スタディツアー中はいろいろなものを食べた。クレープのようなものがインジェラ、発酵食品で酸っぱい。エチオピア原産のテフを使用して作られている。テフは近年ではスーパーフードとしても世界的に注目されている。インジェラにワットというおかずを載せて食べる。滞在中はインジェラの他、カレーやパスタ、韓国料理などいろいろな国の料理を食べた。照り焼きチキンも食べることができて嬉しかった。

体調について話をする。みな、滞在中に 1 回はおなかが痛くなったりしたが、あるスカウトは高熱を出してしまい病院に罹った。病院のトイレが流れない(注:故障中か水不足)ことにとても驚いたとそのスカウトが言っていた。エチオピアの慣れない中でも治るか心配だったが、薬や点滴のおかげで皆と一緒に帰ってくることができてよかった。

この発表を聞いてみなさん、エチオピアについてどのように思っただろうか?わたしは実際にエチオピアに行って、エチオピアの人はとてもやさしくて、おもてなしの精神がとても強くて、遠く離れているのに日本のような感じを受けた。この発表を通じ、アフリカやエチオピアに興味を持ってもらえるとうれしい。

#### 質疑応答

#### Q. 照り焼きチキン以外で美味しかったものは?

A. ホテルのビュッフェのパスタがおいしかった。日本で食べるような味だなと思った。いつもと同じ感じがして美味しかった。

エチオピアはアフリカで唯一独立を保った国だが、イタリアが占拠していた時期も数年あった。この時期にイタリアの食文化が持ち込まれている。独立後もイタリアとの関係はつづき、エチオピアの人々はパスタやピザなどのイタリア料理に慣れている。首都にはおいしいイタリア料理店が多く、地方でもおいしいパスタなどイタリア料理が食べられる。

#### Q. 蚊や危険な虫はいるのか?

A. エチオピアで多くの人が暮らしているのは高地(1500m 以上)なので蚊は少ない。低地、砂漠・熱帯地域では蚊は多い。 ノミ、 シラミ、 ダニはいる、 動物を介した狂犬病なども注意が必要。 ただし、 きちんと対策をとっていれば、 それほど恐れる病気ではない。 アフリカは近年経済成長をしているので、 医療環境も進んできている。 田舎でもクリニックがあり、 検査もすぐでき、薬の入手も困難ではなくなりつつある。

#### Q. 病院の薬を使うのに不安はなかったのでしょうか?治療費はどの程度か?

A. スタディツアーのために事前に病院を調べていた。(注:現地にある在日本大使館や旅行会社などが情報を持っている)。熱が出る、お腹を壊す、風邪をひくなどは、旅の疲れによることが多い。日本からの旅行者、出張者などは、到着後3日目、4日目に体調を崩すことが多い。対処としてはスケジュールを詰め込まないこと。尿や血液検査は現地の病院でも行われており、検査結果がすぐに出るので必要な治療は受けられる。重篤な場合にはフライングドクターなどの利用も考えられる。今回のGS36団の場合は、病院リストの中から、外国人がよく利用する病院(地方と都市2か所とも)で治療を受けさせた。(検査の結果どちらの病院も「疲労による熱」との診断で、点滴を受け休んでいれば完治するとの診断だった)

診察料は、はっきりとは覚えていないが 1-2 千円程度(日本では安く感じる額だが、現地では高額) 海外保険をかけていれば、治療費はカバーできる。

#### Q. 現地の食べ物で酸っぱいクレープを食べたとのことだが、飲み物は何を飲んでいたか

A. オレンジジュースばかり飲んでいた(エチオピア産オレンジ 100%、美味しかった)

#### O. 水は飲めないのか、買わないといけないのか

A. ケニア山、キリマンジャロ山など、高地の水はミネラルウォーターとして販売されるほどで、水質に問題はないとされている。エチオピアの水道水は JICA 専門家によれば、水源の衛生状態にはまったく問題はないが、配管の亀裂などから細菌が入る可能性が否定できないことから、ミネラルウォーター、炭酸水などの飲料が推奨されている。高地の暮らしでは、水など飲料水をひんぱんに飲むことが高山病予防となることがよく知られている。現地の人たちはコーヒー、紅茶、炭酸水など、食事中だけでなく合間にもよく飲んでいる。

#### Q. 現地に行った際に持って行ってよかったものは何か?

A. 日本のお菓子。例えば、乾燥納豆など日本のものを持っていき、日本の味を楽しんだ。食事が美味 しくなかったわけではないが、食べなれたものがあるといいなと思った。

リーダーが持ってきたレトルトのおかゆ、うめぼしなどが、熱が出たスカウトに役立った。海外旅行には、病気になったときを想定したものも持っていくとよい。食料品は余ったらお世話になった現地の人や日本人にプレ

ゼントするととても喜ばれる。

#### 5分間の休憩



#### 体験)アフリカの国旗をイメージしたビーズ・クラフト作り

講師:白鳥くるみ アフリカ理解プロジェクト代表

大学生の時に GS からの推薦で内閣府の国際交流事業で、世界青年の船に参加し、国際協力の仕事に興味を持った。卒業後、海外協力隊でケニアに赴任、その後 NGO や JICA の仕事でスリランカ、イギリス、インドネシア、タンザニア、エチオピアなどで暮らした。海外の生活は 35 年以上、アフリカに 21 年生活した。今も ARP の活動を通して、アフリカに関わり続けている。

この連続講座では、課題を抱えながらも可能性を持つアフリカの多面性を伝えていきたいと思っている。

多様性の大陸から私たちが学ぶことは、たくさんある。アフリカには 54 か国の国と地域があり、それぞれの国に個性があることを国旗を通じて知ってもらいたいと思い、第 1 回は国旗色のビーズ・クラフトづくりにした。

オリンピックで世界とつながるこの機会にアフリカの国旗、私たちの国旗を知り、考えてもらえる機会にしてもらいたい。

#### く体験:国旗色のビーズ・クラフトづくり>

体験としてビーズ・クラフトづくりを行う。アフリカ国旗一覧、作り方説明書、ビーズやワイヤーなどの材料は、 事前に参加者に郵送した。実際の国旗の色、大きさや縦横比率などはそれぞれの国の大使館の HP を 確認してほしいと注意事項を伝える。

必要な道具は、セロテープのみ(はさみとセメダインは必要に応じて)。ビーズ細工は専門の工具が必要になるが、「この体験講座では、工具がなくてもできるように工夫した」。

手順としてはまず、①国旗一覧から好きな国旗を選んでもらう(好きな色の組み合わせや興味のある国の国旗を選ぶ人が多いよう)、そして②ブレスレットの配色やデザインを考える。考える時間が終わったら、はじまり!講師と GS36 団アフリカチームが、参加者のフォローをしながら、それぞれのペースでつくっていく方式。

最後の手順は説明書にも記載しているが、丸めた部分に通してぐるぐる巻きにし、はさみなどでぎゅっと締める。ワイヤーの端の飛び出しでケガしないようにビーズ 1-2 個に戻し、セメダインで固定して処理をしてもよい。ワイヤーの長さは平均値の 24cm としたが短い、長い、適宜調整して作ると良い。焦らずに進める、ビーズをまき散らさないように気を付ける。最後の処理を大人がやれば、6 歳のブラウニーからでもできる。GS のキャンプやイベント(シンキングディ)などにも取り入れられるプログラムだと考えている。

送付資料の 2 枚目には応用編としてストラップやワイヤーを使ったバングルの作り方も載せている。余ったビーズで後日作成してほしい。よい作品が出来たら写真を撮って 36 団に送ってほしい。各個人のペースがあるので、早くビーズを作り終わったときは、一覧表を見て国旗を見て気が付いたこと、共通する点がないか、自分が選んだ国旗の説明などに目を通す、事前に送付したワークシートにこたえたりしてもらった。

タンザニアの国旗、ウガンダの国旗などの作品例を紹介。送付した手順書にもいくつか例を載せている。

この体験を通し、国旗、アフリカの国をたくさん知るきっかけにもなる。



アフリカ国旗一覧「キッズ外務省」(印刷可能)

https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/kokki/k\_africa.html

以下は、参加者がブレスレットにその国旗を選んだ理由

- 一番貧困と聞いたことのある国にしようかと考えたが、配色からウガンダなどカラフルな色の国を選んで 進めた
- ウガンダは昨年 GS の世界大会が開かれる予定だった国で記憶にあった国。なので目に付いたのか もしれない
- 青系がすきなのでボッワナを選んだ 水資源が少ない国というのが気になった
- 配色が好きだったのでボッワナを選んだ
- ジンバブエを選び、途中で星の黄色など分量を途中で少し入れてみた
- エチオピアとマラウイを作成した。余ったもので別のものも今後作ってみる
- シエラレオネ、アンゴラのどちらも配色が好きだったので選んだ。 昔ビーズをやっていたので特に難しい点はなかった
- エジプトはクレオパトラが興味があったので作った、マリは好きな配色
- セイシェル 国旗が斜めの放射線になっているのが珍しいので選んだ
- ボッワナを選んだ
- ガンビアがシンプルで作りやすそうなので選んだが、川の国という意味ということでナイル川以外のイメージがなく、改めて知ることができた

ある程度時間がたったところで、体験で作成したものを各自画面に映しながら記念撮影を行った。

#### 質疑応答

#### O. アフリカはなかなか行けるところではないと思っていた

A. 協力隊を例にとれば、ARP のメンバーが派遣された 1970 年代はアフリカに行く日本の若者(特に女性は)数えるほどしかいなかった。協力隊という制度じたい知名度もなく、アフリカに赴任する人数も女性の割合も低かった。今は女性が半分以上、リタイア後のシニア層の派遣など、海外協力隊制度は広まり、アフリカへの派遣人数は増えている。国際協力機関、企業派遣、起業などによりアフリカで仕事をする人たちも増えている。日本からの観光客も年々増えている。

#### O. 植民地がほとんどとの事だったが、文化にも影響しているようですね。

A. 植民地制度・植民地主義は、奴隷制度、経済・資源の搾取、民族や文化の分断など負の面が大きいが、宗主国によりインフラ整備や言語(英語や仏語)の普及が進んだりした面もある。アフリカ諸国独立後も、例えば、英国連邦(コモンウェルス)には、17 か国のアフリカの国々が加わっており、経済関係を保持している。

#### Q. 都市にビルがあることに驚いた

A. 私が初めてエチオピアで暮らし始めた 2005 年ごろは、首都のアジスに高層ビルは少なく、ヤギや牛が

街を歩くような牧歌的な風景が広がっていた。2010 年からの首都・地方都市の急速な変化には、目を見張るものがある。36 団がスタディツアー後も、発展つづいている。ビル建設ラッシュがつづき、高速道路や市内電車、鉄道なども整備されている。

#### Q. どこが支援しているのか

A. 人・もの・金の支援や投資は、中国が多い。借款や無償などで、エチオピアでも高速道路、公共施設(アフリカ連合本部ビルや会議場)などを無償で提供している。日本は、アフリカ開発会議の開催やABEイニシアティブなどの人材育成、重点項目(保健医療、教育、農・産業などの分野)に対し、重点的な支援を続けている。G7 サミットでアフリカへの支援を増やす、開発途上国や新興国の支援を増やしていこうとの話になっている。インフラ整備やビジネスをサポートすることでアフリカや新興国は大きく変わっていくだろう。

#### お話 3) らくらく! アフリカ国旗の覚え方(白鳥くるみ)

初めに GS とアフリカのつながりで国旗を紹介。ケニアにベーデン・ポウエル夫妻のお墓がある。ナイロビから 北に 150km のニエリの街にある。晩年夫妻が凝らした場所が博物館となり、世界中からスカウトが墓参 に訪れている。

私と ARP スタッフの一人は、協力隊員時代このちかくに住んでいた。夫妻が、晩年愛した場所だけあって、暮らしやすい気候、美しい自然、穏やかな人々が暮らしているところだ。

#### <アフリカ国旗の特徴5つ>





西アフリカを中心に三色(緑、黄色、赤の組み合わせ)が多い。12 か国がこの配色。植民地支配を逃れたエチオピア帝国旗(緑、黄色、赤の三色旗)の強さにあやかった西アフリカの国々に、この三色旗が多い。色の意味はそれぞれの国で異なる。





リーダーが決めた色というのもある。パンアフリカン運動のリーダー「マーカス・ガーベイ」が、決めた「赤、黒、緑」は、ガーベイの三色旗といわれている。この3色を使用しているのは4か国、東アフリカの国が多い。



その3

国旗の中にシンボルがある国も多い。自由を守るための武器を国旗に入れている国、国鳥や巨大遺跡にある彫刻、タカやオリーブの枝や綿、太陽などが入っている国も多い。



国旗にある三日月、星はイスラムを象徴する。イスラム教を信仰する国民が多い国という意味になる。三日月と星は、もともとはイスラムのシンボルではなく、イスラム教ができる 2000 年も前からあったシンボルだが、オスマン帝国が使い始めてイスラム教と結び付けられるようになったそうだ。



ユニークな国旗もある。キリスト教の十字を示している国、右下四分の一にデザインがある国、解放された 黒人奴隷によって建国された国でアメリカの国旗を基調にしたもの、アフリカ民族会議、元の支配者の旗の色など6色を組み合わせた国旗もある。



最後に日本の国旗にはどのような意味があるのか?海外の人に聞かれて答えられるか。 赤はどんな意味 で白はどんな意味があるのか。 自分たちで調べてみよう。

#### おわりに

国際理解は、相互理解だ。「相手の国を理解するだけではなく、自分の国を知り発信していくこと」が、とても大事だ。世界的な活動をしている GS のみなさんは海外に出るチャンスも多い。海外の人たちから日本のことを聞かれる機会も多いはず。自分のことばで、説明できるようになってほしい。期待している。

#### 閉会のあいさつ

アフリカに対するイメージは変わりましたか?よりアフリカに興味を持ってもらえたら幸いです。

3回目の参加もまだ受付中です。

#### 講座の感想(アンケート回答より)

- ・楽しかったし、アフリカに対する自分の気持ちが少し変わった気がします。 団の皆とも共有したいです!
- ・経験豊かな方のお話でよく分かりました。国旗も参考になりました。アフリカの子供たちの笑顔やリズム感楽しかったです。
- ・アフリカのことがとてもよくわかりました。2 団のジュニアはオリンピアバッジがらみで世界のこといろいろについてこの一年取り組んでいます。参考にさせていただきます。(ワークシートの正解もいただきたいです)
- ・最後のくるみ L のおっしゃった日本のこともよく知っていきましょう・・・は心に残りました。 エチオピアのスタディツアーは、企画から実施まで大変なご苦労だったと推測します。 そんな企画サイドのお話も伺いたいです。
- ・アフリカはどうしても負のイメージが強かったのですが、文化などを知って、アフリカの新しい一面が分かりました。
- ・今まで知らなかった事や知っていたけれどもっと深く知ることができて良かった。
- ・アフリカのイメージが変わりました。知らない知識を多く得られ、とても有意義な時間を過ごせたと思う。
- ・アフリカは憧れの地ではあるけれど、行ける国ではないと思っていました。若いころ海外青年協力隊に興味を持った時に、あと一歩行動力があればガールスカウトのもう少し早く出会っていれば人生が変わっていたかもしれません。地平線に沈む太陽を見たいという思いがまた沸々と湧いてきました。現地に居ればこその素敵な写真をたくさん見ることが出来、とても楽しい気分になれました。健康であればいつか行けるという思いをもって過ごしたいと思います。
- ・今までアフリカ大陸に関して、ほんのひと握り知識、想像の世界でしかありませんでしたが、アフリカ派遣また、アフリカ理解プロジェクトのお話しを伺い、アフリカにはじめの一歩を踏みしめることができました。スカウトの感想等も伺い一緒に勉強ができたこと、また皆さんと一緒に理解を深められる貴重な時間をいただけ感謝です。有難うございました。

・実際に行ったことがある人の体験談が特に楽しかったです。アフリカは貧困などの暗いイメージや途上国というイメージだったけれど、今回の講座でわたしが思っていたよりもずっと街が進んでいたりネットを使っていたらイメージが変わりました 現地での料理がすごく気になったので食べてみたいと思いました!アフリカの国旗もカラフルでかわいいものが多いのでブレスレット作り楽しかったです!

## 体験しながら学ぶはじめてのアフリカ ワークシート





2021年6月 ©アプリカ理解プロジェクト・ガールスカウト東京都第36団

団		
名前		

パッジブックと一緒にファイルに入れておきましょう。

#### 国はいくつ?

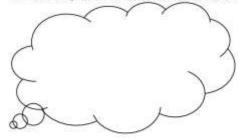


講座で学んだ国に色を塗ろう!

アフリカの国 カ国 ガールスカウトの アフリカ地域 アフリカ地域の ワールドセンター

(2021年6月現在)

※「アフリカ」と聞いて、最初に思い浮かぶことは?



体験しなが5学のはじれてのアフリカ2021 APP GST36

株務しながらずははしめてのアフリカ2021 APP/GST36



**物臓しながら学ぶはしめてのアフリカ2021 APP GST36** 

**株務しなが5.9/5ほじめてのアフリル 2021 ARP-GST36** 

## World Studies はじめての体験しながら学ぶアフリカ GOALS



### 参加管療場型 シニア・レンジャー・リーダー(成人会員)対象オンライン講座

第1回 6月20日 (日) 14:00~16:00

はじめてのアフリカ 一 国はいくつ?

アフリカ大陸の国々を知る ビーズクラフトでアフリカの国旗を覚えよう! アフリカの国旗の色でおしゃれなバングルを作ります

第2回 7月18日(日) 14:00~16:00

#### はじめてのアフリカンファッション

暮らす人たち、民族衣装の着方を知る アフリカの布でクラフトをつくってみよう! アフリカの布でコースターまたはヘアバンドを手縫いします

第3回 8月15日(日)14:00~16:00

#### はじめてのアフリカ料理

アフリカの食文化を知る アフリカ料理をつくってみよう! 美味しい!ニジェールのチキンザルマと モロッコのアボカドジュースをいっしょに作ります







※講座の詳細は裏面をご覧ください♪



## **グ** ガールスカウト対象オンライン講座



この講座は、東京都第36団とNGOアフリカ理解プロジェクトがガールスカウトを対象に 企画した楽しい体験をしながら、アフリカについて専門的な知識(初歩)を学ぶ講座です。 アフリカを学びながら、SDGsを考える機会にもなります。 講座は、1回でも3回連続でも参加できます。お気軽にご参加ください。

対

シニア・レンジャー

リーダー (成人会員) 各回30名

數 加 シニア・レンジャー : 1,000円

3回参加割引:3000円 →2500円

費

リーダー(成人会員):2,000円

3回参加割引:6000円 →5000円

※参加費には、第1回、第2回の購養資料・作り方・材料費と送料が 含まれます。第3回目の料理は事前にレシビなど資料をメールでお送 りします。料理の材料は各首で前えていただきます。 関西、アボカド、牛乳、吸むどスーパーで買えるものです。 参加費は、調用終了後にお支払いください。

共催:アフリカ理解プロジェクト/ガールスカウト東京秘第36団 東京都第3回回は、NGCアフリカ理解プロジェクトとともに、 アフリカの多面的な情報を伝えることで理解を促進し、世界に関心 を広げ考える力を育てるプロジェクトをおこなっています。













认

申 第1回~第3回のいずれも下記申込フォームまたは、

QRロードよりお申込みください。

方団でまとめてお申込みいただくことも可能です。

法 ※シニア・レンジャーは、必ず保護者と団のリーダーに 連絡してから申し込んでください。

申込みフォーム:https://forms.gle/5g535E8iZyxAUEXR7

問い合せ:下記までお問い合わせください。 Eメール: gstokyo36ranger.africa@gmail.com

#### 申込締め切り

定員に達し次第終了。 または各開催日の1週間前まで

※詳細は、参加決定者にメールでお送りします。 ※参加費は講座受講後、接込先を お知らせいたしますのでご入金をお願いします。



発行:アフリカ理解プロジェクト www.africa-rikai.net

報告書文責:アフリカ理解プロジェクト

©アフリカ理解プロジェクト

発行日: 2021年7月4日